

目次

はじめに

第一章 貧乏の本身は変わった

——資本の思想攻撃とどうたたかうか

1 “武器”を捨てた労働者

「スト権確立反対」の切なる願い	一四
会社との関係忘れてスト反対	一六
「市場荒らし」を恐れる労働者	一八
他人のフンドシで相撲をとる組合	一九
変わってきた貧乏の本身	二四
ゆがめられる労働者の権利意識	二七

2 資本の思想攻撃の特徴

労働者の自覚妨げる「常識」	二九
うちの会社には「資本家」はいない	三〇
労働者と資本家の階級対立を否定	三三
目的と結果をスリカエる理論	三四
敵の前に会社も組合もない	三五
政治に眼をむけない組合づくり	三九
階級闘争にアカ攻撃のクサビ	四〇

3 労資協調主義が狙うもの

会社の赤字と家計の赤字の違い	四二
教えてくれよなあ、委員長！	四四
削りとられる「休日・休暇」	四六
うちのカアちゃんに生休はない！	四九
人間としての生きる権利の主張	五三
「配置転換」に弱い企業内組合	五五
ヌルマ湯の雇用関係にも原因	五七

4 思想攻撃とどうたたかうか

思想闘争への基本的な構え	六〇
労働者の要求を前面にかかげて	六一
敵の力を圧倒する意思と体制	六三

第二章 蜂の巣をつついたように

——企業主義と対決する要求づくり

1 “春闘”とはなにか

無視できなくなった“春闘の力”	六六
日本労働者の「創意あるたたかい」	六六
一万円賃上げへの期待と自信	七〇

2 要求づくりの出発点

見物席におかれた職場の労働者	七三
現実主義者の「先生オシッコ論」	七四

3 要求づくりと大衆討議

“蜂の巣”をつついたように	六九
大衆討議は労働者の思想闘争の場	七〇
大衆討議を成功させるために	七三

4 要求の決定と幹部の指導

青い柿の実は木から落ちない	六九
組合幹部と活動家の果たす役割	九八
産業別組合の指導とオルグの任務	一〇二
昨日と今日と明日を考えながら	一〇三
生きた歴史の教訓にまなぶ指導	一〇四
要求を整理し重点をつくって集中	一〇六

要求を阻む力を正確に測定	二〇
--------------	----

5 要求づくりと組合民主主義

仲間同士に引くべき一線はない	二二
会議・集会を成功させるために	二五
みんなで決めて、みんなで動く	二八
たたかいは労働者の『共同作業』	二九
多数決だけが民主主義ではない	三三
サラリーマン・コンプレックス	三四
仲間を信じあう団結のモラル	二六
労働者の唯一の武器・統一と団結	二六

第三章 労働力の安売りはごめんだ

——労資対決の焦点・団体交渉と大衆動員

1 団体交渉はなぜ重要か

労働組合は『生きるための手段』	二三
-----------------	----

労働条件は労働者自身が定める	二四
法律は「たたかいの戦利品」武器	二六
労働力の安売り競争をしない体制	二八
組合の優劣は団交能力でさまる	二九
団交能力の弱い『従業員集団』	二四一
誰が交渉するかは組合の自由	二四

2 団体交渉への攻撃と防禦

団体交渉を軽視する資本の攻撃	二四六
苦情処理制度の導入とそのねらい	二四九
『屈辱的な平和』の押しつけ	二五三
人事・経営権をタテに交渉制限	二五三
団体交渉は労資の『対決の場』	二五六

3 団体交渉のすすめ方

団体交渉は『技術』ではない	二五八
系統的な準備と協約・協定の理解	二六一
避けたい感情主義とベテン交渉	二六四

交渉経過や状況を職場に知らせる……………	一六
職場は「情報」の重要な供給地……………	一六

4 要求の獲得と大衆動員

幹部と組合員の結合を強めながら……………	一七
ほめられて怒るものはいない……………	一七
新しい仕事ばかりを追いかけるな……………	一七
どこから手をつけ何から始めるか……………	一七
たたかいは大義名分を明らかに……………	一七
便所の「落書き」からまなぶ……………	一七
バック・ギヤの使える労働組合に……………	一八
職場委員は「労働組合の顔」……………	一八
職場委員の任務と重要な役割……………	一八
職場交渉を成功させるために……………	一八

第四章 眼には眼、歯には歯を

——敵を圧倒するストライキの戦略・戦術

1 無権利からのたたかい

爆発した「低い賃金」への怒り……………	一九
二〇日間も無休で渡り走る乗務員……………	一九
文句をいう労働者は「機動隊」へ……………	一九
不当労働行為に女のオッパイ論……………	一九
一五項目の要求かかげ組合を結成……………	一九
住民と産別労働者がバック・アップ……………	二〇
破れた社長の「夢よう一度」……………	二〇
ストライキを背景に対等な団交……………	二〇
労働者自らがたたかいたった成果……………	二〇
崩れおちた「人事異動のトリデ」……………	二〇
長期オルグに連帯の闘争資金カンパ……………	二〇
たたかいは「四つの教訓」……………	二〇

2 ストライキの準備と戦術

ハンマーを投げ捨てることの意味……………	二二六
組織力の集中的表現Ⅱストライキ……………	二二六
仲間の関心をあつめ緊張を持続……………	二二一
スト投票はアクセサリーではない……………	二二四
知ってわかつて『たたかい』へ……………	二二六
みんなの力でビラ貼りや教宣活動……………	二二六
ストへの思想攻撃をどうハネ返すか……………	二四〇
ストライキ戦術の決定と選択……………	二四一

3 ストライキの決行と収拾

力で相手を圧倒するか、されるか……………	二四二
弱い環をつき粘りつよくたたかう……………	二四七
時機を失せず、戦略は中止せず……………	二五〇
『妥協』はあくまで戦闘の一時中止……………	二五三
「結論」だけが問題ではない……………	二五五
闘争の妥結は日常運営の延長線……………	二五八